

コロサイ

人への手紙

④

主イエスの命を 生きよう

コロサイ人への手紙 3章 キリストにある聖化の歩み

アウトライン

0. イントロダクション

I. 思うべきは天におられるキリスト 1～4節

II. キリストにある日々の歩み 5～23節

III. まとめと適用

キリストに日々仕えて歩む

コロサイへの手紙とは？

■ 著者 …使徒パウロ（書記テモテ）

■ 宛先 …コロサイ教会

■ 執筆時期・場所

…獄中書簡。どこかは不明。
エペソの獄中という説も。
(ピレモンとの関連)

■ 目的 …異端的教えへの反論





I. 思うべきは天におられるキリスト 1~4節

促し 上にあるもの コロサイ3:1~2

こういうわけで、あなたがたはキリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが**神の右の座***に着いておられます。

上にあるものを思いなさい。地にあるものを思ってはなりません。

■ 父なる神の権威を帯びた大祭司

主イエスは王として帰って来られる。



真理 信者のいのち コロサイ3:3~4

あなたがたはすでに死んでいて、あなたがたのいのちは、キリストとともに神のうちに隠されているのです。

あなたがたのいのちであるキリストが現れると、そのときあなたがたも、キリストとともに栄光のうちに現れます。

- 主イエスの再臨の時、すべての信者も栄光の体をもって地上に下る





Ⅱ. キリストにある日々の歩み 11～25節

ネゲブ

警告 偶像礼拝の本質 コロサイ3:5~6

ですから、地にあるからだの部分、すなわち、淫らな行い、汚れ、情欲、悪い欲、そして貪欲を殺してしまいなさい。貪欲は偶像礼拝*です。

これらのために、神の怒りが不従順の子らの上に下ります。

*欲望を具現化したものが、偶像

…物欲、性欲、金銭欲、自己顕示欲、支配欲

■果てのない欲望に支配されているのが、罪人

→神の怒りを免れる者は一人もいない



促し 捨てるべきもの コロサイ3:7~8

あなたがたも以前は、そのようなものの中に生き、そのような歩みをしていました。

しかし今は、これらすべてを、すなわち、怒り、憤り、悪意、ののしり、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを捨てなさい。

- 私たちが口にすべきは、
主の証しとなる言葉。



促し 神の似姿として コロサイ3:9~10

互いに偽りを言ってはいけません*。あなたがたは古い人をその行いとともに脱ぎ捨てて、
新しい人を着た*のです。新しい人は、それを造られた方のかたちにしたがって新しくされ続け*、真の知識*に至ります。

*成長を妨げる最たるものが、偽り、偽善

■福音を信じて救われた瞬間に新生(義認)、
変えられ続け(聖化)、完成する(栄化)

私たちは、神のかたちへ変えられて行く!!



促し キリストがすべて コロサイ3:11~12

そこには*、ギリシア人もユダヤ人もなく、割礼のある者もない者も、未開の人も、スキタイ人も、奴隷も自由人もありません。キリストがすべてであり、すべてのうちにおられる*のです。

ですから、あなたがたは神に選ばれた者、聖なる者、愛されている者として、深い慈愛の心、親切、謙遜、柔和、寛容を着なさい。

*神の王国で栄化し、完成した姿

*新天新地がまさに、この通り

ゴールへの確信を深めて、変えられて行く!!



促し 結びの帯 コロサイ3:13~14

互いに忍耐し合い*、だれかがほかの人に不満を抱いたとしても、互いに赦し合い*なさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。

そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全です。

- 忍耐、赦しとは、主の御手に委ねること
主イエスは、すべてを父なる神に委ねた。
- *帯(=たすき)を締めるのは、行動の備え。



主の愛を帯びて、遣わされよう!!

促し キリストの平和 コロサイ3:15

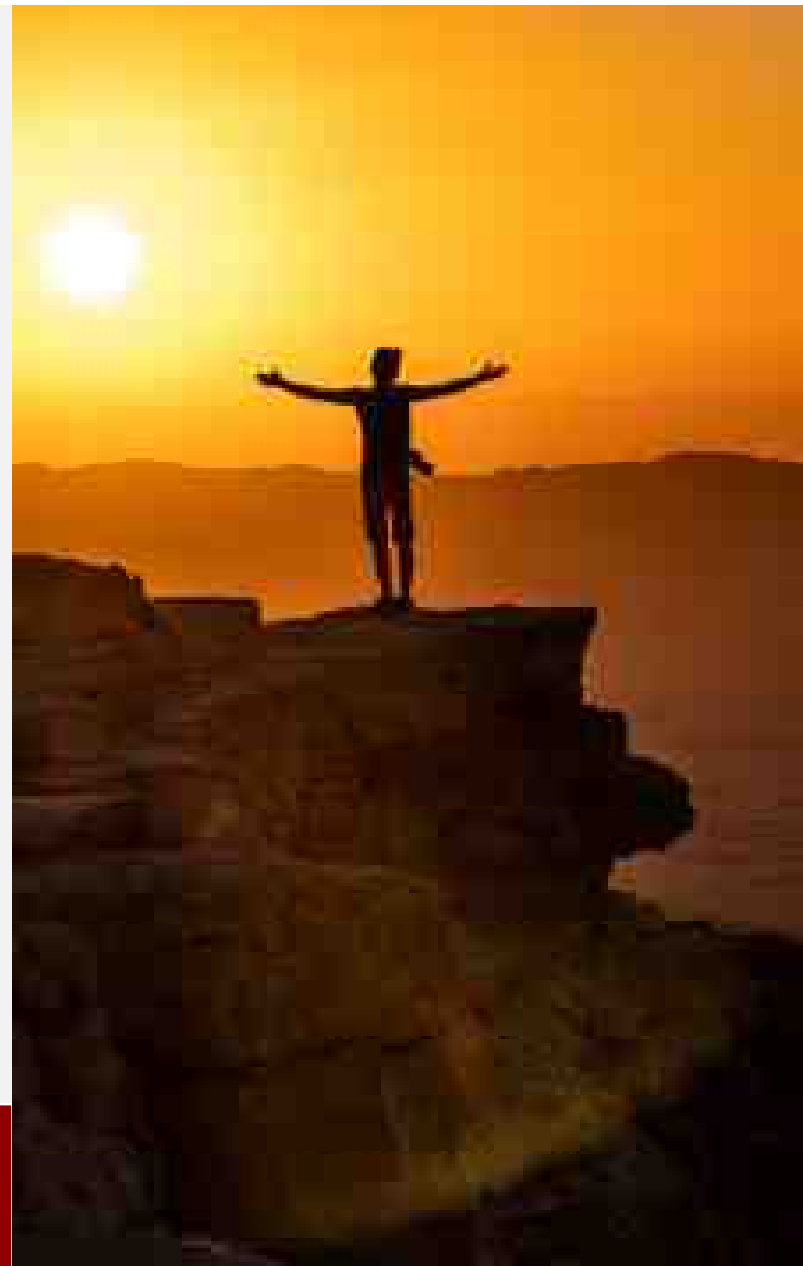
キリストの平和*が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのために、あなたがたも召されて一つのからだとなったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。

*平和 = 神との和解・神との平和

➡父なる神と子なるキリストの平和

■神とキリストが完全に一致しているように私たちも、キリストと一つとされていく。

感謝をもって、主に委ねて歩むこと



促し

信者は互いに コロサイ3:16~17

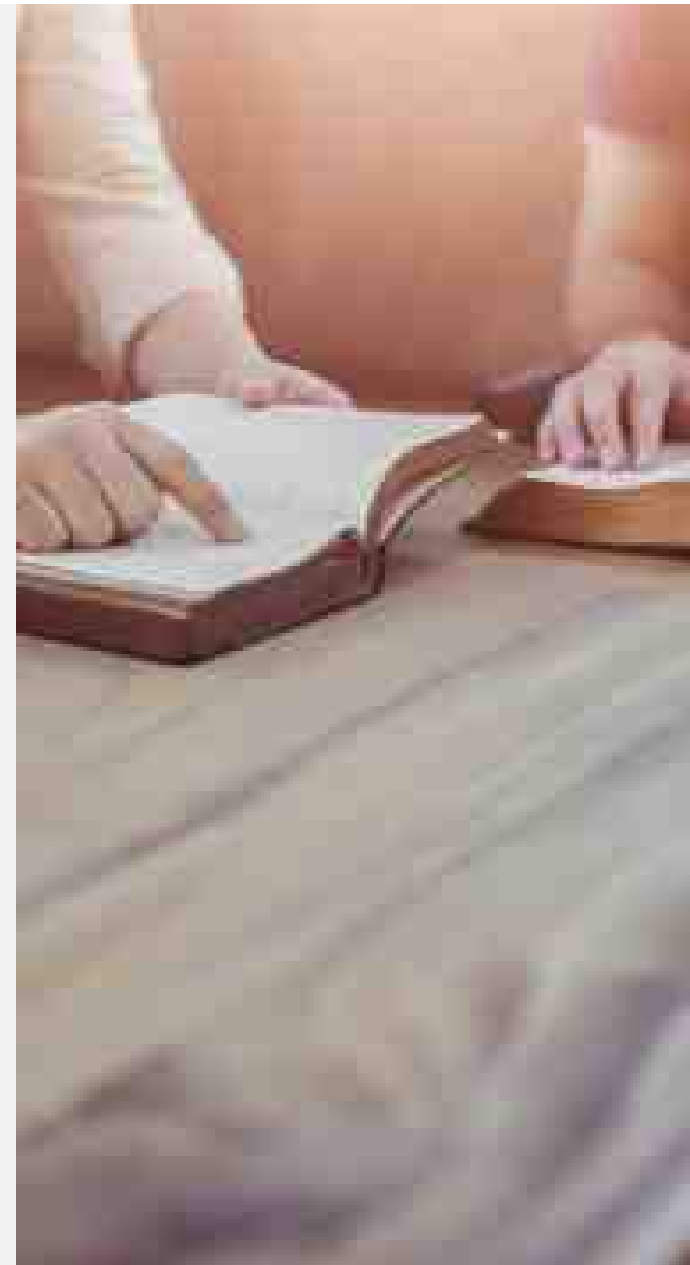
キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むように*しなさい。知恵を尽くして互いに教え、忠告し合い、詩と賛美と霊の歌により、感謝をもって心から神に向かって歌いなさい*。

ことばであれ行いであれ、何かをするときには、主イエスによって* 父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において* 行いなさい。

*御言葉に親しみ、血肉とする → 信仰者の土台

*関係性の中に身を置くことが必須 → 地域教会

*主イエスこそ、あらゆることの仲介者



促し 夫婦の関係 コロサイ3:18~19

妻たちよ。主にある者にふさわしく、夫に従いなさい。

夫たちよ、妻を愛しなさい。妻に対して辛く当たってははいけません。

■ 妻は、夫に従う。夫は妻を愛する。

→「**従え**」「**愛せよ**」と命令はできない

■ それぞれにできるのは自発的な愛の行為

→ 妻ができるのは、夫に従うこと。

→ 夫ができるのは、妻を愛すること。



促し 信仰的子育て コロサイ3:20~21

子どもたちよ、すべてのことについて両親に従いなさい。それは主に喜ばれることなのです。

父たちよ、子どもたちを苛立たせてはいけません*。その子たちが意欲を失わないようにするためです。

*子どもをコントロールしようとしな

■子は、親に従う。

親は、自立を前提として子を育てる。



大切なのは、自立した信仰を子に身につけさせること!!

促し 権威者に対して コロサイ3:22~23

奴隷たちよ、すべてのことについて地上の主人に従いなさい。人のご機嫌取りのような、うわべだけの仕え方ではなく、**主を恐れつつ、真心から従いなさい***。

何をするにも、人に対してではなく、**主に対してするように、心から行いなさい***。

*権威者への態度に、適用できるだろう。

*仕事の姿勢にも、世の様々なことにも適用できる。

あらゆる時に主を証しよう



宣告 御国を継ぐ者 コロサイ3:24~25

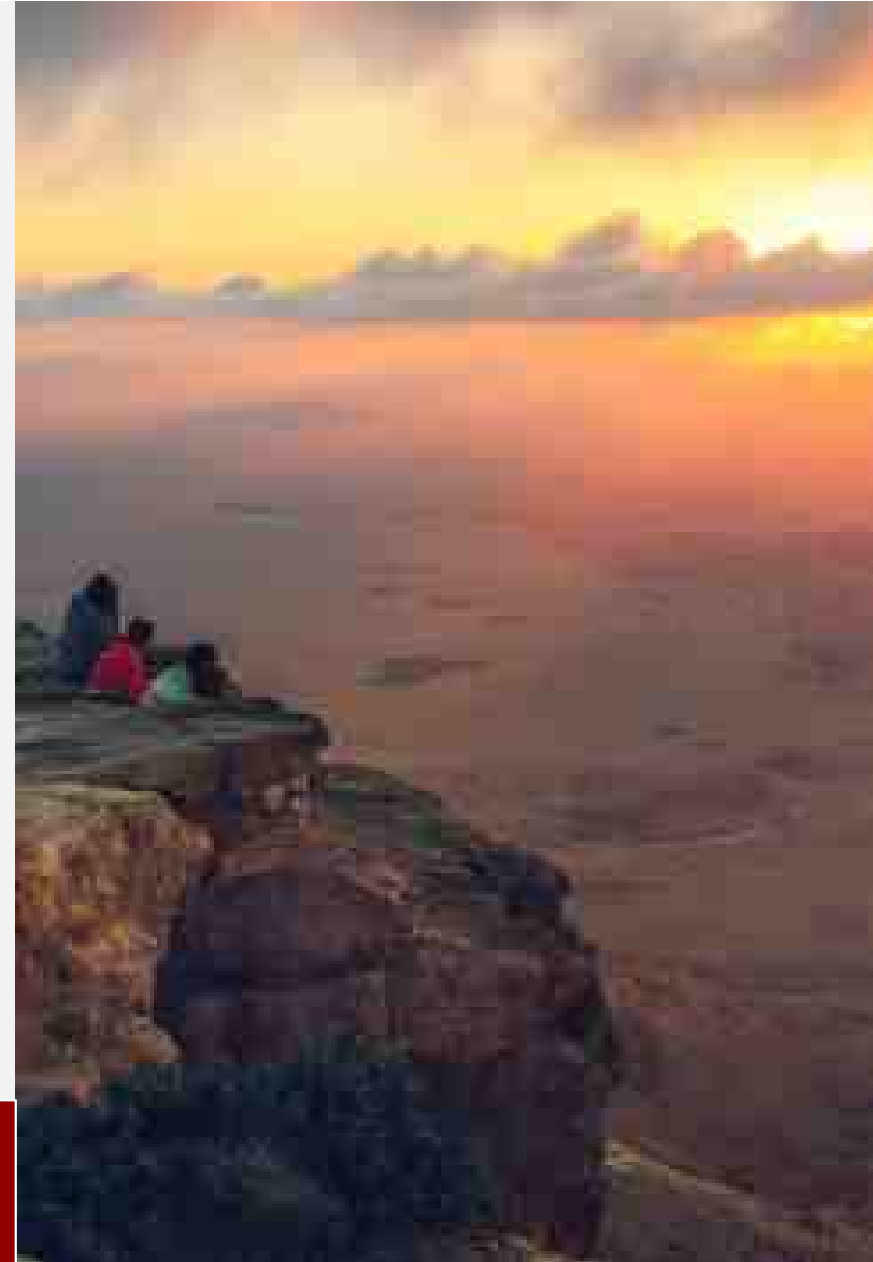
あなたがたは*、主から報いとして御国を受け継ぐことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。

不正を行う者は、自分が行った不正を報いとして受け取る*ことになります。不公平な扱いはありません。

*再び、全信者への呼びかけ。総まとめ

*主の目は逃れられない。報いを受ける。

御国の相続者にふさわしく主に仕えよう





Ⅲ. まとめと適用

キリストに日々仕えて歩む

死海の朝焼け

上にあるものを求めるとは？

①大祭司イエス

- 主の御名によって、主イエスのとりなしを求めて祈る
自分自身をささげ物ととして、霊とまことの礼拝をささげる

②王なるイエス

- 栄光の王・主なるイエスの再臨を切に待ち望む
完成される栄化に向かって、日々新たにされつつ歩む

栄化をゴールに、日々変えられつつ聖化の過程を歩んでいく!!

すでになされた御業を確認しよう

①古い自分は死んだ

→悪魔と欲望の奴隷から解放された。

②キリストがすべてになっている

→完全に永遠に神の所有とされている。

■私たちの思いや感覚に関わらず、すでにそうになっている。

とにかく信頼して歩いていけば、実感の後からついてくる。

すでになされたことを、確信に変えて行く過程が、聖化

主の愛の帯をしめよう!!

■ 聖書の「帯」は、着物の裾をたくし上げ、動きやすくするためのもの
➔ 仕事や戦いにのぞむ準備

■ 愛の帯をしめるとは、主の使命を実行に移すための準備

① 御言葉を学ぶ・主によく聞く

② 自分自身の適用・具体的な行動を受け取る

➔ 他者に対して求められるのは、忍耐と赦し

③ 主の愛により、神の愛を証しすべく、実行していく

キリストにあって自分にできる最善を尽くすのが、愛の行為

キリストの似姿に変えられて行こう

■ II コリント 3:18

私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、
鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、
主と同じかたちに姿を変えられていきます。
これはまさに、**御霊**なる主の働きによるのです。

私たちは、内に住まわれる**聖霊**の働きにより、
父なる神の栄光に照らされ、
キリストに似た者へと変えられて行く。

★ 聖化の原則を、日々何度でも確認しよう ★

■ キリストにさらに従うことによってのみ、私たちは変えられていく。何かのプログラムやノウハウが私たちを変えるのではない。

■ 御言葉を正しく学び、(他者ではなく)自分自身に適用し、示され促されたことを、キリストの愛をもって実行していこう。

■ **義認**(すでになされた救いの恵み)と**栄化**(約束された救いの完成)を確認しつつ、主に委ねて実行し、**聖化**の過程を変えられて行こう。

本物の信仰しか役に立たない時代がやって来る!!

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、^{そむ} 罪を重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、
つみ あがな じゅうじか し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ

②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ

③三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

わたし かんぜん えいえん しゅ
私は、完全に、永遠に、主のものとされました。

えいこう からだ あた かんせい とき む ひび あゆ
栄光の体が与えられる完成の時に向かって、日々を歩みます。

たしゃ しゅ ゆだ ゆる わたし いのち しゅ みて ゆだ
他者のことは主に委ね、赦します。私の命を主の御手に委ねます。

にすがた わたし か
キリストの似姿にふさわしく、私を変えていってください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」